

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

子どもの本だな 16

ちいさなねこ

石井 桃子 さく 横内 襄 え(福音館書店)

こねこが、お母さんねこの見ていない間に門から外へかけだしました。外では、子どもにつかまれたり、自動車にひかれそうになったり、ついには大きな犬に木の上へ追い上げられました。「にゃお！にゃお！」となくこねこの声を聞きつけ、お母さんねこがかけだしました。

こねこが怖い目にあうと、聞いている子どもたちも緊張しますが、家に着いてお母さんのおっぱいを飲む結末は、安心感に満ちており、幼い子をとらえてはなしません。水彩の絵が、こねこの動きや表情を丁寧に描いています。2歳くらいから。(池田)

へムロック山のくま アリス・デルグレーシュ 作

松岡享子・藤森和子 共訳 太田大八 画 (福音館書店)

ジョナサンはへムロック山のふもとに住む8歳の男の子です。ある日、山の向こうに住むおぼさんの所から大きな鉄なべをかりてくるよう頼まれました。へムロック山にはくまがいるという話を聞いて不安でいっぱいジョナサンを、お母さんは「くまはいないから大丈夫」と送りだします。ジョナサンは「くまなんていない」と歌いながら山を越え、おぼさんの家に着きました。帰り道、なべが重くて速く歩けず、辺りは真っ暗になってしまいました。ジョナサンが、元気が出るよう歌いながら歩いていると、くまが2匹向かってくるのが見えました…。

ペンシルバニア州で語り継がれていた話をもとにしたお話。あたたかい線で描かれた挿絵が、素朴なお話によく合っています。機転をきかせ、はじめてひとりで山越えをやり遂げたジョナサンの誇らしげな気持ちが伝わってきます。読んでもらえば5歳くらいから。

(池之上)

地下水

新しくおはなしを覚えようと、ここ何日か昔話の本を2冊ずつ持ち帰っている。そのなかに「きこりとテーブル」というトルコの昔話があった。貧しいきこりが泉のそばで「おーふ」とため息をついたところ、その名のおじいさんが泉から出てきて、ごちそうを出すテーブルや金を出すロバをくれる。きこりが宝物のことを秘密にしておかないものだから、どちらも盗られてしまう。おじいさんは「おまえはすこし考えがたりないようだ」といいながら、また役立つものをくれ・・・というおはなし。

毎月下旬になると、気が重くなる。図書館報の原稿を書かないといけないからだ。「地下水」がまわってくるたびに、「書くことがない。」と嘆くのだが、「書かなくてよい。」とは言ってもらえない。原稿は夜に書くという職員がいて驚く。いつ終わるかわからないことを夜に始めたら、睡眠時間が減るではないか。というわけで、日々、なにを書こうかみんなと悩み、休日を文章書きにつぶすことになる。

困り果ててため息をついたら、おじいさんが出てきて知恵を授けてくれぬものか。(竹内)

『「アラバマ物語」を紡いだ作家』 チャールズ・J・シールズ著

野沢 佳織 訳 柏書房 517頁 2014年2月刊 2,800円 (請求記号) 930.2

本書は、米国の読書習慣調査で「人生を変えた本」として聖書に次いで2位に入った『アラバマ物語』の作者、ネル・ハーパー・リーの評伝である。

ネルは、大恐慌だなかの1926年、アラバマ州の田舎町モンローヴィルに、四人きょうだいの末っ子として生まれた。活発で型にはめられることを嫌うネルは、2歳年上の少年トルーマンと友達になった。小柄でいじめられることの多かったトルーマンを大柄なネルが守っていたのだ。ある時本が大好きな二人に、ネルの父親が使い古しのタイプライターを贈ったことがきっかけで、二人は物語を書く事に夢中になった。トルーマンは母親の再婚でカポージェイと姓を変えニューヨークに引越していったが、二人の交流は続いた。ネルが、女子大を一年で退学し、アラバマ大学のロー・スクールに進んだのは、弁護士と姉の影響が大きかったようだ。しかし学内のユーモア雑誌の編集長として才能を発揮するようになると、作家になりたいという思いを抑えきれず、またもや大学を中退しニューヨークに出て行った。ある年のクリスマス、航空会社で働きながら執筆していたネルに友人夫婦が思いがけないプレゼントをくれた。一年間執筆に専念できる資金の提供だった。ネルは、故郷アラバマに暮らす勇敢な父親、個性あふれる住人や友人をモデルに小説を書きあげた。小説はベストセラーとなり、ピューリッツァー賞を受賞した。

著者は執筆にあたり、ネルに取材を断られている。しかし関係者へのインタビューやゆかりの地への訪問を重ね膨大な資料にあたり、公民権運動が興隆しつつあった時代の深南部の空気を描き出し、ネルの足跡を丁寧にたどっている。『アラバマ物語』の読者はもちろん、カポージェイの傑作『冷血』の取材助手としてのネルの貢献など、カポージェイの読者にも興味深い一冊である。(片木)

お知らせ

講演会「昔ばなしが語る子どもの成長」

講師：小澤俊夫さん（筑波大学名誉教授・口承文芸学者）

日時：2月20日(金) 13:30～15:30 場所：文化会館研修室

申込要：図書館まで *保育を希望される方はご相談ください。

2月	3月	2月・3月の移動図書館(いずれも木曜日です)				
12日	12日	塚森 地域内 10:30～10:50	沖代 地域内 11:00～11:20	福地(三反長) 地域内 14:30～14:50	米田 公会堂 15:00～15:20	竹広南 公民館 15:30～15:50
19日	19日	岩見構下 公民館 10:30～10:50	岩見構上 公会堂 11:00～11:20	原池団地 公民館 15:00～15:20	山田 掲示板前 15:30～15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00～16:30
26日	26日	広坂 公民館 10:30～10:50	上太田 公民館 11:00～11:20		吉福 公民館 15:30～15:50	太子 ニュータウン 公民館 16:00～16:30

2月の開館日						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月の開館日						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

カレンダーの×印は休館日です。
開館は10時～18時まで。
金曜日は20時まで開館しています。

